

★ えんがる 議会だより



みんなで踊ると、楽しいね。
第64回遠軽がんぼう夏まつり

平成27年第2回町議会(定例会)……………P 2～3

町政を^{ただ}質す!! 一般質問……………P 4～7

報告事項……………P 8～9

所管事務調査報告・意見書……………P 10～11

えんがる話・編集後記……………P 12

師確保に関する意見書を採択

平成27年第2回町議会（定例会）

平成27年第2回遠軽町議会（定例会）は、6月10日に招集され、6月12日までの3日間の会期で開かれました。

冒頭、佐々木町長から行政報告として、プレミアムリフォーム付建設券の執行状況等のほか、遠軽厚生病院産婦人科医師2名の減員問題にも触れ、引き続き遠紋地区の市町村で協力し要請活動に取組む旨の報告がありました。

消費税率の引き上げに伴う低所得者及び子育て世帯へ緩和措置として行う、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の実施について説明があつたほか、提出案件の要旨説明が行われました。

報告案件は、第三セクターの経営状況について3件、平成26年度一般会計及び下水道事業会計の繰越明許費について、それぞれ1件ずつ報告がありました。

審議案件は、平成26年度一般会計・特別会計補正予算の専決処分4件、遠軽町条例等の改正4件、平成27年度一般会計補正予算の専決処分1件、表彰1件、過疎地域自立促進市町村計画変更1件、条例の制定1件、条例の改正2件、平成27年度一般会計・特別会計及び企業会計補正予算4件、工事請負契約の締結6件、財産の取得6件、議会改革活性化特別委員会中間報告1件、追加議案として工事請負契約の締結5件、財産の処分1件、議員から意見書6件が提案され審議の結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。

主な内容

工事請負契約

- ① 契約事業者
- ② 契約額
- ③ 予定工期
- ◎平成27年度丸瀬布学校給食センター建設工事（建築主体）
- ① 管野・大同特定建設工事共同企業体
- ② 2億7842万円
- ③ 来年2月29日
- ◎平成27年度丸瀬布学校給食センター建設工事（機械設備）
- ① 高橋・北海特定建設工事共同企業体
- ② 1億3649万円
- ③ 来年2月29日
- ◎平成27年度丸瀬布学校給食センター建設工事（電気設備）
- ① 工藤・遠軽・北海特定建設工事共同企業体
- ② 9666万円
- ③ 来年2月29日
- ◎平成27年度遠軽中学校大規模改修工事（建築主体）

財産取得

① 契約事業者



遠軽中学校

- ① 株式会社 山口産商
- ② 2億1859万円
- ③ 来年1月29日
- ◎平成27年度南中学校耐震改修工事
- ① 株式会社 丸尾建設
- ② 7700万円
- ③ 来年1月29日
- ◎平成27年度（仮称）スポーツ広場整備工事
- ① 渡辺・大同特定建設工事共同企業体
- ② 1億7220万円
- ③ 12月18日
- ① 株式会社 キグレ管材
- ② 864万円
- ◎丸瀬布学校給食センター備品一式（冷凍庫ほか）
- ① イト電商事株式会社
- ② 1058万円
- ◎丸瀬布学校給食センター備品一式（皮むき機ほか）
- ① 株式会社 イチマル
- ② 1123万円
- ◎生田原学校給食センター消毒保管機2台
- ① 日本調理機株式会社
- ② 724万円
- ◎除雪トラック（10t専用車）1台
- ① UDTラックス道東株式会社
- ② 4277万円

工事請負及び財産取得については指名競争入札で行われました。

遠軽厚生病院の堅持並びに医

臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金 9月受付開始

補正予算

◆平成27年度遠軽町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に8325万円を追加し、総額を154億4749万円としました。

○企画一般経費

1290万円

・補償費算定業務委託料
福祉センター建替事業に伴う岩見通南1丁目補償費算定委託料です。

○地域おこし協力隊事業

1160万円

・嘱託職員報酬並びに係事務経費等
・地域おこし協力隊フォロー業務委託料
・地域おこし協力隊活動助成金

都市部に住む方を協力隊員として受け入れ、まちづくりに係る活動を通じて、隊員の定住や地域活性化に繋げることを目的に実施するものです。

○臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金

支給事業

4070万円

・臨時福祉給付金
・子育て世帯臨時特例給付金

・総合行政情報システム改修業務委託料

・印刷製本費、通信運搬費等の事務経費

消費税率引き上げに伴い、低所得者及び子育て世帯への影響を緩和するため、暫定的・臨時的な措置として実施されるものです。

○商店街助成事業
69万円
・眼鏡、時計のタニシマ(店舗改修)
遠軽町商工業振興条例の規定に基づき、店舗近代化計画の事業認定を行い助成します。

○教育振興一般経費
806万円
・遠軽高等学校教育振興補助金
国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン遠軽様からの寄附金230万円を、楽器購入に充てるものです。

・遠軽高等学校教育振興補助金
国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン遠軽様からの寄附金230万円を、楽器購入に充てるものです。

・遠軽高等学校教育振興補助金
国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン遠軽様からの寄附金230万円を、楽器購入に充てるものです。

・遠軽高等学校教育振興補助金
国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン遠軽様からの寄附金230万円を、楽器購入に充てるものです。

・遠軽高等学校教育振興補助金
国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン遠軽様からの寄附金230万円を、楽器購入に充てるものです。

・遠軽高等学校教育振興補助金
国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン遠軽様からの寄附金230万円を、楽器購入に充てるものです。

表彰

遠軽町表彰条例により、次の方を表彰することに
ついて、原案のとおり可決しました。

◎社会功労(公共のため100万円以上の金品を寄附した法人または団体)

・国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン遠軽様
(遠軽高等学校楽器購入資金)

・遠軽町民憲章等検討委員会条例の制定

条例の制定

◆遠軽町手数料条例の一部改正

条例改正

◆遠軽町税等の滞納に対する制限措置に関する

◆遠軽町過疎地域自立促進市町村計画の変更

計画変更

る条例の一部改正
(全会一致可決)

・「産業の振興」に「遠紋地域人材開発センター暖房設備改修工事」
・「交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進」に「東1線道路オーバレイ工事」
・「福路39号線道路路改良舗装工事」
・「中通排水路改修事業」
・「高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進」に「介護老人保健施設整備事業」
・「北海道家庭学校施設整備費補助事業」
・「医療の確保」に「健診システムほか医療機器等4台」
・「教育の振興」に「教職員住宅整備事業」
・「生田原図書館屋上改修事業」を追加。
(全会一致可決)

一般質問

秋元 直樹 議員



問

屋内公園整備についての町の考えは

答

公共施設の更新と合わせ方法を検討する

ていく考えはありませんか。町長の考えについて伺います。

に劣化点検業務を委託し、その結果に基づいて修繕、撤去などの安全管理を行っているところです。

屋内で遊べる施設を整備していく考えについては、予定している福祉センターの建替えにおいて、施設の一角に親子が集える場所を設置するなど、施設内容を検討していくことも考えられます。

また、現在ある公共施設を有効活用するなど、様々な方法を検討していきます。

再問

一つの方法として、町内に屋内で子どもが遊べる施設である、ちゃちゃワールドの遊具を拡充してみてはいかがでしょうか。築17年が経過した現在、簡易なりニユーアルを施し、子育てしている親の集客を促すのも手かと思えますが、いかがですか。



願望岩下の公園に設置された遊具

遊具の集約化については、コスト・維持管理の観点からも負担軽減につながるものが期待される場所ですが、利用されなくなった遊具については撤去し、他の公園へ配置しています。

一方では、遊具を設置していない公園に、遊具設置の要望を受けている事例もあります。

そのため、遊具の集約化については、町民の意向を踏まえつつ対応すべき事項と考えております。

企画課長

各地域の実情や全体のバランスも考えながら検討していきます。

町長

現在、町内の公園数は67箇所、うち遊具を設置している公園は36箇所あります。遊具の管理については、専門業者

問 平成27年3月に策定された第2次遠軽町総合計画の子育て環境の充実の現状と課題の中では、「今後子どもたちが集える場や遊べる場の確保などさらなる対応が求められています。」と記載されており、行政評価や子ども子育て会議においても「町内で遊べる公園がない。」との声が多くあります。

町内には約70箇所の公園があり、「公園施設長寿命化計画」に基づき管理することとしています。が、維持管理が行き届いている公園もあれば、整備も滞り錆びた状態で放

置された遊具が散見される公園も多々あります。魅力ある遊具をコスト、維持管理の観点から特化・集約化すべきと考えますが、町長の考えについて伺います。

子どもたちが、雨の日や冬期間に遊べる環境を考えたときに、北見市の木のプラザや留辺蘂町温根湯の山の水族館、紋別市にある北海道立オホーツク流水公園などの施設に足を運んでいる人は少なくありません。

四季を通して子どもたちがのびやかに遊べる場を考える中で、屋内で遊べるような施設を整備し

ただ 町政を質す!!

一般質問

竹中 裕志 議員



問

答

駅周辺整備と福祉センター建替
工事の進捗状況と今後について
あらゆる面で検討し、しっかりと
事業推進する

問

駅周辺整備事業は今年度策定された第2次遠軽町総合計画で掲げられ、福祉センターについては、「文化ホール機能を持った市民会館的な施設」の意向を受け、「駅前整備や市街地活性化等を考慮し、岩見通コミュニティ駐車場周辺を候補地として取り組む。」とされ、

今日に至っています。本事業は7年間で、想定33億7千万円余りを費やす大型事業ですが、本町はすでに過疎問題に直面しており、人口減少とそれに伴い歳費の減少が予想されます。

本施設は、多くの町民

が長年待ち望んでいた施設であることから、事業の遂行に当たっては禍根を残すことのないよう町民意見を尊重し、理解を得ながら無理のない計画が重要になります。そういった観点から、次の3点について質問します。

①JR駅周辺の今後の整備計画の展望について
②基本となる福祉センター建物（主要用途）及び駐車場等も含めた整備計画について
③建設予定地取得に向けた、進捗状況と今後予定の事務等について

町長

①用地の取得状況で位置や規模が決まるので、周辺への影響を考慮して検討します。

②福祉センターの用途を残し、音響に配慮したホールと賑わいの場所となる多目的なホールの併用を検討しています。町民皆さんの参画をいただき、施設概要を検討していきます。

駐車場は用地の取得状況に合わせ検討します。
③建設予定地については関係諸団体や、予定地内の遠軽交通様、恵池会様にも説明したところで、ご理解とご協力をお願いしています。



現在の旧中央病院

また、その他の地権者に対しては、補償費算定業務委託の結果に基づき、戸別に説明し対応していきたいと考えます。

合併特例債の期限が平成32年ですが、多額の費用を費やす大型事業であ

再問

今回の補償費算定業務委託では、中央病院の跡地は対象外になっていますが、町民の大きな関心事であることから、現在の進捗状況と今後の見通しを伺います。

町長

病院施設であったことから、取り壊すときの諸々の条件が考えられるので除外しましたが、すでに地権者との話し合いは進めています。

解体・整地等の費用については、できるだけ支出を抑える工夫をしますが、当初の総事業費が増えても、将来のランニングコスト等が低く抑えられれば良いと考えます。

ることから、完成後の維持費等を含め、あらゆる面から検討し、しっかりと計画を持ち、事業推進をしていく考えです。

一般質問

阿部 君枝 議員



答

問

愛情あふれるまちづくりへ向け
喫緊の課題は
地域連携を図り、医師確保に努
める

問 先の定例会において、

1期4年間の町政運営で、
積み重ねた経験を生かし、
自らが先頭に立ち、町民
の期待に応えられるよう、
柔軟な発想と創意工夫、
責任と決断を持ち、町民
の皆様と共に今後のまち
づくりを推進すると、述
べられました。

「元気で愛情あふれるま
ちづくり」へ向け、様々
な場面における町民意見
に対する喫緊の課題及び
中長期の取り組みについ
て、町長の考えについて
伺います。

町長 本年から平成36年
度までの10年間を期間と

した、第2次遠軽町総合

計画がスタートしました。
策定に当たり計画素案
を作成するワーキング
チームを一般公募と職員
の若い世代で行うととも
に、高校生や町民を対象
としたアンケートの実施
により、広く町民の意見
等を、計画に反映させて
いただきました。

昨今は、一つの自治体
ではなかなか解決できな
い「医療」や「教育」な
どの課題も増えてきてお
り、医師の確保について
は喫緊の課題であり、迅
速に対応する必要がある
ます。

今後は、近隣市町村と

より一層連携したまちづ

くりも視野に入れながら、
柔軟な発想と創意工夫を
凝らし、引き続きまい進
したいと考えています。

再問

町民アンケートで
は、町内の医療体制の充
実に対してさまざまな世
代から意見が出ていまし
た。

今回、遠軽厚生病院の
産婦人科医師の引き揚げは、
女性全体の重大な問題で
す。

2人の医師が引き揚げ
られた後、1人の体制で
産婦人科の存続は可能で
しょうか。

昨年は、整形外科医師

も引き揚げられ同様の事

態が起こりましたが、未
だ回復されていません。

地域医療の充実がなけ
れば自衛隊の存続も厳し
く、地域医療の崩壊は町
の崩壊にも繋がりがねま
せん。

町の今後を考えると医
療の充実は最も重要であ
ることから、総力をあげ
て早急に取り組むべきで
はないでしょうか。

町長

今現在、あらゆる
手段を使って医師の確保
に取り組んでいます。

先般、北海道、JA厚
生連、旭川医科大学に要
望活動し、まずは1名の

医師を確保することに全
力を注いでいます。

本件の原因は臨床研修
医制度が崩壊したこと
によりです。根本的に問題
を解決するには、国にお
いて制度を変えなければ、
これから毎日起きてしま
う問題です。

また、遠軽厚生病院、
遠軽高校は遠紋地域の医
療・教育の重大な役割を
担っており、自衛隊も含
め、これらは全てリンク
しています。

この中の何が欠けても
一次産業が打撃を受け、
さらに二次、三次産業に
従事する人も減少してし
まいますので、遠紋地域
全体のことを考え、さま
ざまな政策を打ち出し
ているところです。

ただ 町政を質す!!

一般質問

岩澤 武征 議員



問1

今年3月に策定した「子ども・子育て支援事業計画」では、「子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境を整備することを目的とする」と謳っています。

町は子育て支援のさまざまな事業を実施していますが、さらなる充実のために伺います。

①保育料の減免

3人以上の子がいる場合、幼稚園では第1子が小学校3年生まで、第2子が半額、第3子が無料となっていますが、保育所では、第1子が小学校に入学すると第2子

問

子育て支援について

①3人以上の多子世帯の保育料の減免を
②病児・病後児保育の実現を

答

①今後においても、国の基準で実施
②保育士・看護師が必要で厳しいが、引き続き検討する

が全額で第3子が半額となります。保育所も幼稚園と同じようにできないのでしょうか。

②病児・病後児保育

保護者が就労等の理由によって、家庭で保育できない病気や回復期にある乳幼児や小学生を対象に病院や保育所等で保育を行う事業ですが、現在遠軽町では実施されていません。事業計画では、

検討するとなっているがどのように検討されているのか伺います。

町長

①保育利用の減免については、どちらの間も6年間を対象として

いて、今後も国の基準に基づいて行います。

②「子育て支援事業計画」で二丁量の見込み

は、平成27年度で159人となっています。専用施設には、看護師や保育士を置くことが必要要件となっており、設置は難しい現状にあります。計画期間内に検討を行います。

再問

今、特色あるまちづくりが問われています。医療・教育・福祉・子育ての町として早期の実現に向けて検討すべきです。

問

介護保険制度改定の影響は

答

利用者負担の増加が考えられます。

問2

この8月から制度が変わり、利用料が値上げされたり、特養の食事が代が値上げになると聞いていますが、その内容は

答

この8月から施行される内容の1点目は、年金収入で280万円以上の人の利用料が1割から2割の負担になります。

2点目は、介護サービスを利用したときの限度額が、37200円から

44400円に引き上げられます。

3点目は、介護施設の食費や部屋代について、配偶者に所得があったり、貯金が1000万円、夫婦で2000万円以上ある場合は、負担軽減の対象外になります。

その他には、特養の相部屋に入居されている方、シヨートステイの方で町民税課税世帯で食事等の負担軽減を受けていない方の室料相当額を負担していただくこととなります。

再問

本人負担が増えて施設を出なければならぬ人や要支援者がサービスを減らしたりする人が出ることが心配されます。いかがでしょうか。

答

そのようなことはないと考えます。

報告

株式会社 生田原振興公社 第24期事業報告

◆利用者増により増収増益に

○ノースキング

入浴利用者は、『ペアの日』『入浴・食事セツト券』など、町内外に広く浸透し、また、『ポイントカード』によるリピーターの確保や『年間パスポート』をサービス料金で提供してきました。

ラジウム岩盤浴では、お得なキャンペーンを実施し、リピーターが増加するよう努めました。年間利用実績は、5万3732人で、前期と比べ1005人の増加となりました。

宿泊利用者は、インターネット予約サービスを行うことにより、「いつでも・どこからでも」空室の確認、宿泊の予約

ができるほか、ホームページにおいて「今日の生田原」というコーナーで紹介することにより、施設のみならず地域のPRも図ることができ、好評をいただいています。さらに、昨年6月から旅行サイトにプランを提供し、お客様が利用しやすいよう配慮しました。

年間の利用実績は9367人となり、前期と比べ189人増加となりました。

レストランは、お客様のニーズに応えながらメニューの変更やプランを立て、大変好評をいただいています。

年間利用実績は、3万6808人で、前期と比べ、2732人増加となりました。

○ちゃちゃワールド

お客様の満足度向上のために、イベントや企画展などを多数開催し、入館者の増加に取り組みしました。

今期は、増税のためか、旅行等の出費を控える傾



生田原コミュニティセンター（ノースキング）

向が見られたため、大型連休に影響を及ぼし、年間の利用実績は1万8991人で、前期と比べ2515人減少しました。

○年間集客数

ノースキングはレストランを含めて延べ約9万9900人、ちゃちゃワールドは約1万99千人、合わせて約11万8900人以上のお客様が両施設を訪れました。

○公社収益

売上高は、1億9310万円（前期1億8116万円）、経常利益は△1289万円（前期△1831万円）と増収増益となりました。

主な質疑

・生田原振興公社

質債務超過に陥るのではないかと危惧しているが、経常損失解消に向けた取り組みは。

答 今までの以上の創意工夫と公社との協議で努力する。

質 遠軽町が筆頭株主だが、町長は経営のアドバイスを公社に対して密に行っているか。

答 利用客を呼び込むよう、公社と連携を図り、販路の拡大に努めている。

質 一般管理費が高く感じるがいかがか。

答 業務量から見て市価より多少安いと考えている。

株式会社 遠軽農業振興公社 第25期事業報告

◆経常利益で増益に

今期は、雪解けは早かったものの5月、6月と低温、また猛暑にも見舞われ寒暖差の大きい年と

なり、先行きが心配されましたが、天候の回復により比較的順調な生育で経過しました。

近年は、天気急変による不安定な日が多く、ほ場の管理が非常に困難を極めることが多くなっており、特に夏場の収穫時には大変苦慮していることがうかがえるところです。

主力の力ボチャについては、一部原料に品質の低下がありました。概ね平年作となり昨年より123トン多く、計画に対し4・7%上回る630トンの製品原料を確保することができました。農産物の総取扱加工実績数量は、受託加工を除く計画数量684トンに対し、104・3%714トンの量を確保することができました。

受託加工については、玉ねぎの皮むき加工を継続して実施してまいりました。今期も原料は前半小玉中心で進むこととなり、後半に入りやや大きなサイズが入荷するよう

になって作業効率が上がったことから、計画を39%ほど上回ることが出来ました。

委託加工料を除く売上高は1億8603万円、経常利益では227万円と増益になり、一般管理費については経費の節減に努めてきた結果、2319万円となり、前期と比べ61万円の減少となりました。

経営安定化のために町から交付を受けた補助金272万円については、加工施設屋根の改修整備費用に充当した結果、純資産額で156万円増の979万円となり、厳しい財務状況の中にあつて僅かではありますが債務超過の解消が図られました。

今期も、徹底した食品衛生管理をはじめ、加工技術の向上と共に経費の節減を図って参りましたが、本年4月からの電料の再値上げと今後消費税の引き上げも予定されているところであり、さらに燃料価格の動向も気



新規導入したウインチ付圧雪車

になるところです。

また、新年度は取扱量のさらなる拡大と新規の開拓も視野に入れ、製造コストの削減にも努めながら事業を進めます。

主な質疑

・遠軽農業振興公社

質 4千万円を増資し民間移行する予定だが、どういった形で進めるのか。

答 増資により、債務及び出資金の毀損などの問題を解消し民間移行する。

質 農業振興公社の民間移行はどのような手法で行はどのような手法で

取るのか。
具体的な手法は今後、協議の中で進める。

株式会社 フォーレストパーク 第20期事業報告

◆新圧雪車の導入により

整備が効率化

平成26年度は、12月3日から人工降雪作業を開始し準備を進め、12月20日仮オープン、12月27日に本オープンし、翌年3月28日まで営業しました。

今シーズンは、人工降雪機で12月にはオープンできたものの、十分な積雪が得られず全面オープンが1月末と遅れをとったことや、1月末からは週末の度に暴風雪に見舞われ、近年にはなかった営業停止も3日間あり、思うような集客が得られませんでした。

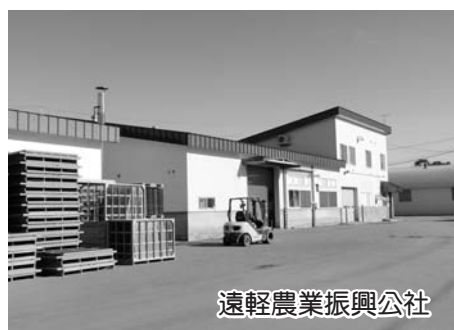
しかしながら、今年からウインチ付圧雪車を導入したことにより、整備は安全に進めることができました。

また、吹雪になると最低3日かかっていたコース整備が1日で仕上げられるようになり、スキー授業や自衛隊等の地元団体、合宿等の地方団体への影響を最低限に抑えらる結果を得られることができました。

経営的には、利用客減少による不振の上、電気料や消費税が上がるなど、非常に厳しい内容でした。

○営業実績概要

・営業日数	96日
・リフト利用者数	18万1277人
・売上高	2096万4610円



遠軽農業振興公社

遠軽町議会ホームページをご覧ください。

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 議員紹介 | <input type="checkbox"/> 請願・陳情の手続き |
| <input type="checkbox"/> えんがる議会だより | <input type="checkbox"/> 意見書・決議 |
| <input type="checkbox"/> 議会の日程 | <input type="checkbox"/> 常任委員会所管事務調査通知 |
| <input type="checkbox"/> 議会の結果 | <input type="checkbox"/> 常任委員会所管事務調査報告 |
| <input type="checkbox"/> 一般質問通告（概要） | <input type="checkbox"/> 議会改革への流れ |

主な質疑
・フォーレストパーク
質 来年度から遠軽町の直営の事業として経営をすることになるのか。
答 今年度のシーズンが会社として最後の営業となり、直営化に向け一旦精算する見込み。

所管事務調査報告

平成27年4月～7月

各常任委員会等で調査、協議、実施された主な項目を掲載しています。

総務・文教

- 4月14日
 - ・4月1日付事務分掌
 - ・平成27年度再任用職員
の配置状況
 - ・旧白滝水力発電所
 - ・遠軽地区広域組合一般
廃棄物ごみ焼却施設建
設工事入札結果等
 - ・町税条例等の改正
- 4月27日
 - ・所管事務調査報告
 - ・所管施設調査
 - ・（仮称）スポーツ広場
現地調査まとめ
 - ・町税条例等の改正
- 5月20日
 - ・6月議会提出議案・補
正予算
 - ・6月議会契約締結案件
 - ・総合防災訓練等
 - ・平成26年度一般会計繰
越明許費

- ・専決処分の承認
 - ・番号制導入に伴う個人
情報保護条例の改正等
 - ・財産管理
 - ・過疎地域自立促進市町
村計画の変更
 - ・道の駅整備及び福祉セ
ンター建替
 - ・図書館の利用状況
 - ・町税等の滞納に対する
制限措置に関する条例
の一部改正
 - ・空き家等対策
 - ・町税条例等の一部改正
 - ・手数料条例の一部改正
 - ・所管施設調査
- 6月11日
- ・平成26年度教育委員会
点検・評価報告書
 - ・意見書の取扱い
 - ・所管施設調査
- 4月17日
- ・4月1日付事務分掌
 - ・福祉暖房費助成事業の
実施状況

民生

- ・平成26年度人口動態
 - ・遠軽地区広域組合一般
廃棄物ごみ焼却施設建
設工事入札結果等
 - ・町税条例等の改正
 - ・平成26年度放課後児童
クラブ利用状況
 - ・平成27年度保育所等入
所状況
 - ・子ども・子育て支援事
業計画
 - ・平成27年度再任用職員
の配置状況
- 5月15日
- ・6月議会提出議案・補
正予算
 - ・臨時福祉給付金の概要
 - ・介護職員初任者研修費
助成事業
 - ・町税条例等の一部改正
 - ・子育て世帯臨時特例給
付金の概要
 - ・所管事務調査
 - ・所管施設調査
- 5月26日
- ・生活排水処理基本計画
策定業務
 - ・番号制導入に伴う個人
情報保護条例の改正等
 - ・道の駅整備及び福祉セ
ンター建替
 - ・所管施設調査
- 6月12日
- ・生活排水処理基本計画
策定業務
 - ・所管施設調査

経済

- 4月15日
- ・4月1日付事務分掌
 - ・平成27年度観光イベン
ト事業
 - ・平成27年度再任用職員
の配置状況
 - ・遠軽地区広域組合一般
廃棄物ごみ焼却施設建
設工事入札結果
 - ・町税条例等の改正
- 5月22日
- ・6月議会提出議案・補
正予算
 - ・手数料条例の一部改正
 - ・遠軽農業振興公社の運
営状況
 - ・生田原振興公社の経営
状況
 - ・プレミアム付きリフォ
ーム建設券の申込状況
 - ・所管事務調査
 - ・所管施設調査
 - ・番号制導入に伴う個人
情報保護条例の改正等
 - ・道の駅整備及び福祉セ
ンター建替
 - ・工事請負契約締結
- 6月11日
- ・意見書の取扱い
 - ・所管施設調査

議会運営

- 4月28日
- ・議会報告会方針
 - ・町村議員研修会
- 6月5日
- ・6月議会審議予定
・議会報告会等
- 6月12日
- ・6月議会追加議案

広報

- 4月13日（第8回）
- 6月10日（第9回）
- 6月24日（第10回）

現地調査

現地調査の様子
（経済常任委員）



・（仮称）スポーツ広場

に係る現地調査

4月14日

総務・文教常任委員会

4月15日

経済常任委員会

4月17日

民生常任委員会

各常任委員会ごとに現

地で、担当課から事業概要の説明を受け質疑を行いました。

検討内容として競技場の方向、更衣室等の設置箇所、土地の造成、治水に関することなど、さまざまな発言がありました。

意見書可決

―遠軽厚生病院の堅持並びに医師確保に関する意見書など6件を採択―

議員による意見書が提出され、いずれも可決し関係省庁等に送付しました。

地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書
(提出者 阿部君枝議員 他5名)

1 医療費助成と国保の国庫負担の減額調整措置について検討すること。
2 幅広い観点から施策を進め支援策を検討すること。

(提出先) 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

認知症への取り組みの充実強化に関する意見書
(提出者 阿部君枝議員 他5名)

1 「認知症の人と家族を支えるための基本法」を早期に制定すること。
2 地域包括ケアシステムの中心に適切にサービスを組み入れること。
3 好事例を広く周知すること。
4 新オレンジプランの点検及び評価を適切に行うこと。

(提出先) 内閣総理大臣、厚生労働大臣

平成27年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

(提出者 山田和夫議員 他5名)

1 全国平均に到達するよう、最低賃金を引き上げる。
2 経験豊富な労働者の時間額が、道内高卒初任給を下回らないよう、確保すること。
3 中小零細企業に対する支援の充実などの対策を国に要請すること。

(提出先) 北海道労働局長、北海道地方最低賃金審議会会長

平成28年度地方財政の充実・強化を求める意見書
(提出者 稲場仁子議員 他4名)

1 地方一般財源総額の確保を図り、現行水準を維持すること。
2 社会保障費用等の確保及び地方財政支援措置を行うこと。
3 復興財源措置は継続し、人口の急変動のあった自治体に配慮した算定をすること。
4 税制廃止等の際には

代替財源を確保し、固定資産税等については、現行制度を堅持すること。

5 「歳出特別枠」及び「まち・ひと・しごと創生事業費」は、恒久的財源への転換を図ること。
6 財源保障機能・財政調整機能強化を図ること。

(提出先) 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、地方創生担当大臣他

北海道教育委員会「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

(提出者 稲場仁子議員 他4名)

1 広大な北海道の実情に沿った指針の見直しを行うこと。
2 「配置計画」は、一方的に策定しないこと。
3 「遠距離通学費等補助制度」は年限を撤廃し、域外生徒も対象とすること。
4 障がいのある無に関わらず、全ての子どもが地元の高校へ通うことができるようにすること。

(提出先) 北海道知事、

北海道議会議長、北海道教育委員会教育長)

JA北海道厚生連遠軽厚生病院の堅持並びに医師確保に関する意見書
(提出者 阿部君枝議員 他5名)



遠軽厚生病院

新臨床研修医制度導入の影響により、脳神経外科、整形外科、泌尿器科の連続した派遣医師の引き揚げに加えて、産婦人科医師2名の派遣医師の引き揚げが予定されている。

地域医療の崩壊は、地域の人口減少に拍車をかけ、地域の振興に多大な影響を及ぼす恐れがあるため、特段の支援及び配慮を強く要望する。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣

北海道町村議員 研修会

7月7日に札幌コンベンションセンターにおいて開催され、16人が参加しました。

中央大学名誉教授の今村都南雄氏は、地方分権改革について、原点に立ち返り検証した上で、次のキーワードになる「まち・ひと・しごと創生」に行政と議会が一体となり取り組むべきとのことでした。

コメンテーターの川村晃司氏は、これからの政局と政治の動向について講演し「政治は生活の片隅にあり。」を議員は念頭に置き、住民に対しては常に丁寧な説明が必要とのことでした。

(松田良一)



えんがある話 (まちの声)

○上白滝

大久保農場

○大久保 淳さん

真由美さん



今回は白滝地域で畑作を営んでいる大久保さんです。

大久保さんは白滝村に神奈川県から平成12年に新規就農のため移住しました。実は、農業をやりたいというより、北海道に住みたくて、職業として農業を選び、縁があり先代から「農業経営継承」という形で跡を継ぎました。お子さんは中学校3年

生と小学校6年生の男子2人で、移住後に誕生した白滝っ子です。先代のご夫婦とは一番身近なおじいちゃん、おばあちゃんのような間柄で、いつも大久保さん一家を温かく見守ってくれているそうです。

○白滝地域における畑作の可能性を模索

白滝の畑作といえば、生産農家の努力や愛食フエアなどを通じて「白滝じゃが」の認知度が上がり、白滝IIじゃがいも、と連想される方も多いかもしれませんが、実際には小麦、ビート、スイートコーンといった加工原料となる畑作物目や、おなじみのじゃがいも、かぼちゃなど幅広く作付しています。ここ、大久保農場ではズッキーニを育て、町の飲食店に提供しているそうです。

また、真由美さんは白滝じゃが生産部会加工班の一員として「じゃがりンピックのじゃがいも料理」のレシピ本作成に携わっており、第2弾の来春発行向け現在準備中とのこと。

○町で主導し農業経営継承にチャレンジ

そんな真由美さんに町や議会に望むことを伺ったところ次のような御意見をいただきました。

就農アドバイザーもさせていただいています。私たちがのように新規就農を希望する方は、全国にはまだまだいると思います。遠軽町の農家も高齢化が年々進んでおり、後継ぎ不足により離農を余儀なくされている方も多い状況ですが、その際は地域の今後のことも考えて、「農業経営継承」にチャレンジしていただき、いわゆる「居抜き」で農家を引き継いでもらうための支援など、農家戸数を減少させないような施策を打ち出して欲しいです。

私たちの子どもや若い世代が就農を望んだ時のために門戸は広く開けておくべきです。今の遠軽町で人口増加の期待ができるのは、新規就農や移住関連事業、たと思えます。町や議会には地域を次の世代に継承できるよう、積極的な取り組みを期待しています。

編集後記

遠軽 〜遠軽がんばろう夏まつり(千人おどり)〜

第64回を数える、このイベントは、町民にとって夏の風物詩とも言えるでしょう。64年前の日本は、力道山がプロレスで大活躍していた時代で、戦後、立ち直ろうとしていた国民を元気づけてくれました。

また、今国会で審議中の安保法制に関連する、日米安全保障条約を締結したのもこの時期です。

本号がお手元に届く8月は戦後70年の節目を迎える終戦記念日がありますが、私たちは「戦争と平和」について、写真の子どもたちの未来のために、真剣に考えなければなりません。

広報特別委員会

委員長 岩澤 武征
副委員長 松田 良一
委員 佐藤 昇
委員 秋元 直樹